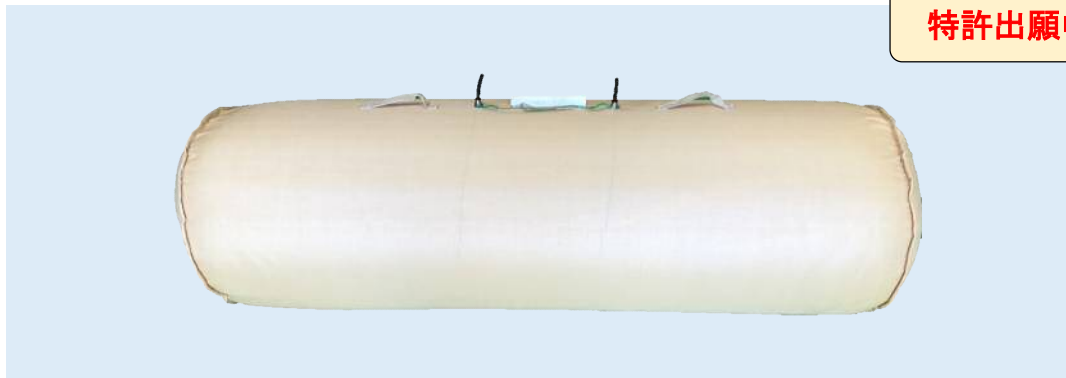


エアチューブ工法

特許出願中



クリモトでは長年、中空床版橋の円筒型枠を製造・販売してまいりました。更新期を迎えた中空床版橋では、上面床版の劣化が著しい状態にあります。上床版の打ち換え補修工事において上面コンクリートを除去した際、円筒型枠が著しく損傷した状態にある事例が多く報告されております。しかし、これまで破損した円筒型枠を簡易的に補修できる工法が確立されておりました。そこでこの度、クリモトから新たな円筒型枠の補修工法をご提案いたします。

特 長

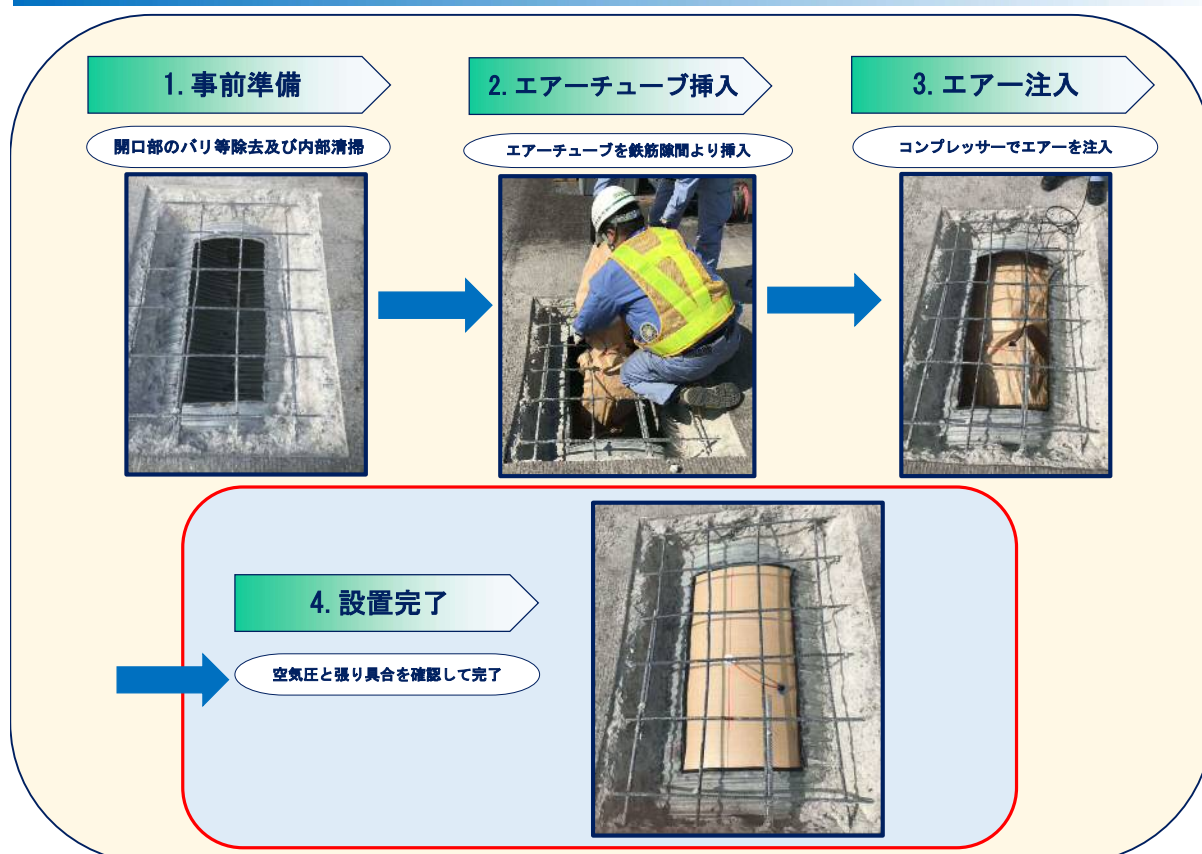
- ・床版内の中空部を再形成できます。
- ・薄い樹脂シートで形成されており、軽く、手軽に持ち運べます。
- ・鉄筋をばらす手間なく、残したまま設置できます。
- ・鉄筋ピッチが狭い場合でも設置可能です。
- ・埋設された鋼製円筒型枠口径、補修延長に対応できます。
- ・簡単な機材(コンプレッサー等)だけで施工できます。

エアチューブについて

- ・ 製作口径 $\phi 400 \sim \phi 1300$
※範囲外の口径についてはお問い合わせ下さい。
- ・ 製品長さ 定尺 1500mm(一本あたり)
※開口部長さ1m以上の場合はお問い合わせ下さい。

※予告なく仕様を変更する場合があります

施工手順



※エア注入時は30kPa～35kPaを基準空気圧とし、CON打設前に下回る場合は再注入して下さい。
※35kPa以上は注入しないで下さい。破損する恐れがあります。

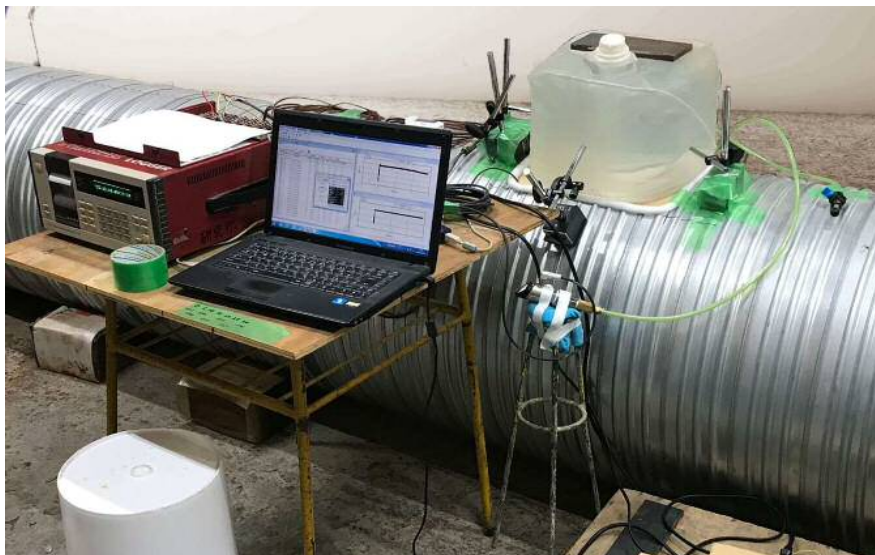
現場設置イメージ



※鉄筋の隙間から挿入し、設置可能です。
※挿入に必要なスペースを確保して下さい。

●エアーチューブの性能確認試験

エアーチューブに要求される内圧性能について、試験にて確認しました。



1. 荷重載荷時の試験状況



2. 屋外環境での荷重載荷時の試験状況



3. コンクリート打設試験状況

試験結果

- ・エアー注入後72時間経過しても著しい内圧の低下はありませんでした。
- ・コンクリート打設圧を想定した荷重を72時間かけてもエアーチューブの著しい変位はありませんでした。

安全のため必ずお守り下さい。

※取り付け前に、下記の事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けして下さい。

※下記に示した事項は、安全にお使い頂く為の重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人がケガをする可能性及び物的損害が発生すると想定される内容を表示しています。



『禁止』を意味します。



『分解禁止』を意味します。



『重要事項』を意味します。

＜警告＞



- ◆施工時に意図せずエアチューブが破裂するおそれがあります。顔などを絶対に近づけないで下さい。
- ◆取り付け時は、転落、つい落、製品落下等がないように充分安全に気を付けて行って下さい。
- ◆必要な保護具（安全靴、保護メガネ、手袋、作業着等）を着装の上、作業を行って下さい。ケガをする恐れがあります。
- ◆労働安全衛生法、建築基準法等、その他法令、条例等に従って設計・施工して下さい。
- ◆廃材の処分は、法令および地方自治体の条例に従って行って下さい。
- ◆工具使用時にはケガをしないよう、安全には十分配慮して下さい。
- ◆製品は円筒型枠用補修材料ですので、それ以外の用途に使用しないで下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
- ◆円筒型枠のバリや鉄筋等鋭利なものを接触させないで下さい。エアチューブが破損する恐れがあります。
- ◆製品を洗浄しないで下さい。製品破損及び劣化の原因となります。
- ◆改造はしないで下さい（製品の切断等）。



＜注意＞

- ◆製品を踏みつけたり、乗ったり、投げたり、ものに



- ◆当てたりしないで下さい。破損の恐れがあります。
- ◆製品・部品の取り付けは確実に行って下さい。破損により、ケガをする恐れがあります。
- ◆高温・多湿での環境下で保管を避けて下さい。
- ◆製品に破損、変形等の異常のある場合は、施工前にお申し付け下さい。
- ◆可燃物ですので、火気に十分注意して下さい。
- ◆製品の近くで溶接作業をする場合は、十分な養生を行い、溶接火花や、熱の影響がないようにして下さい。
- ◆製品を放り投げたりして衝撃を与えないで下さい。キズ、変形や破損の原因となります。
- ◆運搬時・施工時にエアチューブが破けてしまうと施工することが出来ません。取り扱いには十分注意して下さい。
- ◆ご使用・施工時には下記の事項にご注意下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
 - ①製品に影響をおよぼす高温（+60度以上）・低温（-20度以下）での使用は避けて下さい。
 - ②製品に強い衝撃を与えたり、落としたり、投げたりしないで下さい。
 - ③製品が破損、変形するような強い力を加えないで下さい。
 - ④コンクリート打設時は、製品に直接パイプレーターが当たらないようにご注意ください。製品が破損する原因となります。
 - ⑤規定の空気圧以上にエアを入れてしないで下さい。破損する原因となります。

免責事項

※下記のような場合には保証対象外となります

- ◆弊社発行の施工手順書および施工手順説明動画に記載された事項に従わない設計・施工により不具合が生じた場合。
- ◆製品が変質・変形する恐れのある場所で使用された場合、及び変質・変形の恐れのある施工がなされた場合。
- ◆天変地異（天災・台風・洪水・地震・落雷・つらら等）による損傷。
- ◆施工により生じた製品の不具合。（鋭利なものによる破損、不具合も含む。）
- ◆弊社の製品以外の部材による不具合。
- ◆既存円筒型枠自体の変形により生じた不具合。

- ◆他の工事が原因による不具合の場合。
- ◆初期の損傷ないし不具合を長期放置したために生じた拡大損傷。
- ◆製品または部品の経年変化により変色、微細なひび割れ等が生じた場合。
- ◆犬・猫・鳥・鼠などの動物や昆虫などに起因する不具合。
- ◆暴動・テロ活動等の不可抗力により発生した損傷。
- ◆弊社発行の施工手順書および施工手順説明動画に記載された事項に従わない保管・取り扱いにより不具合が生じた場合。

X 株式会社 栗本鐵工所

建材事業部

<http://www.kurimoto.co.jp/>

※当カタログ掲載の仕様等は、改良のため予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

※当カタログ記載の内容は、一般的な情報の提供を目的とするものです。細心の注意のもとに作成しておりますが、必ずしも保証を意味するものではありません。

※無断転載、複製を禁じます。

本 社 〒550-8590 大阪市西区北堀江1丁目12番19号

Tel.(06)6538-7707 Fax.(06)6538-7755

東 京 支 社 〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号

Tel.(03)3450-8556 Fax.(03)3450-8560

北海道建材営業課 〒063-0835 札幌市西区発寒15条12丁目4番10号

Tel.(011)661-6781 Fax.(011)661-6783

九 州 支 店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番11号

Tel.(092)451-6626 Fax.(092)471-7696

Cat.No/YK-02(24/11)